

新緑の青葉の季節を迎えました。たいへんお忙しい中、遠方にもかかわらず創業60周年式典にご参加いただきありがとうございます。人に例えると還暦、節目の年、本年は二日間に分け開催となりました。

一日目五月一九日(土曜日)  
新緑の青葉の季節を迎えた。たいへんお忙しい中、遠方にもかかわらず創業60周年式典にご参加いただきありがとうございます。人に例えると還暦、節目の年、本年は二日間に分け開催となりました。

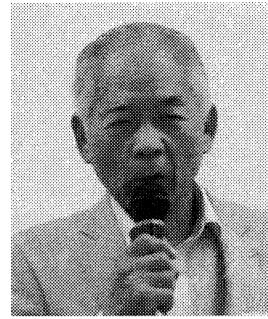
五月ならではの鯉が泳いでいる。まさに森羅万象、太平洋の創立記念日を寿き未来は断



## 社長挨拶

・風薰る五月、優しい風、優しい光、木々草花も微笑するかのように咲き、蝶も自在に乱舞し空には五月ならではの鯉が泳いでいる。まさに森羅万象、太平洋の創立記念日を寿き未来は断

## 創業者挨拶



・希望持ち、成せば成るはず、心決め、道は拓かれ、道は築かれ  
・春が来た、大洋城に、春が来た  
・どこまでも、つくることない、志し、五月の空は、青く晴ればれ  
・さあ行こう、鯉が舞い舞う、

・希望持ち、成せば成るはず、心決め、道は拓かれ、道は築かれ  
・ホイットマンの詩集日本語訳第一人者、木島始はホイットマンを人間詩人と称賛、詩集を初

・企業は末広がりで発展する。経営理念、働いて良かったと言え等をお招きして開催。二日目二〇日(日曜日)は神守研究開発センターにて北は東北、南は九州から職域の皆様を中心に約三〇〇名を超す方々に集まって頂き、開催致しました。二日目の式典では、五一期社業に貢献された方を表彰規定により部門功労賞、資格取得賞、新人賞等、受賞された方には厚く御礼申上げます。

海外経済が地政学的リスクの高まりにより不透明感を残す中、幸い国内景気は緩やかな回復基調が続いている。五一期売上高一二一・八億円と言う過去最高額を達成しましたが、不採算工事等の発生により収益が伴いませんでした。本年も建設業界は未広がり、発展を示す、と言

て育て無限の可能性が秘められ、開催となりました。

## 創業60周年記念式典

発行所  
大洋基礎工業株  
たいよう新聞委員会

# たいよう

めで日本に紹介した文豪夏目漱石は文壇における平等主義の代表者と評し明治維新時代の波に飲み込まれた当時の日本人が忘れていた道を、失くしてはならないと詩集草の葉から人間主義、平等主義を守らねばなりません。成熟企業一〇〇年企業を目指す大洋は人間主義、平等主義を貫き、建設人大洋人としてホイットマンから学習してないと詩の一節を記してみました。

・さあ行こう！きみが誰であろうと、来てわたしと一緒に旅をして、きみは決して疲れることのないものを発見する。大地は決して疲れることがない、大地は、始めのうちは粗野で黙々として理解しがたい、自然是始めのうちは粗野で理解しがたい、落胆するな、頑張りつづけるのだ、落胆しがとに蔽いかけられた神聖なものがいくつもあるのだ、わたしはきみに誓つていう、言葉が言いあらわせる以上の美しさを

・草の葉としてホイットマンは詩を綴りました。創業60年をい。 創業者 豊住 満

自分の利益や他人からの評価を求めず、民の幸せの為に国を豊にを、天命として仁愛に生涯をささげた西郷さんのドラマで、敬天爱人。天を敬い人を愛する、まさに西郷さんの生き様を語っているように思えてなりません。大河ドラマ西郷どんから、社員と協力会社、お客様を大切に想う心を持って行動すべき時は断固として行動せよ、と言われる

・本社の駐車場に掲げてあるスローガン、「建設で子供に残す夢づくり」と「ゆずりあう心のゆとり安全運転」は社員からの提案と投票で決まりました。子供は国の未来作り。地域社会へかな都市作りの経営の基本である。今年の大河ドラマは西郷どん、

代表取締役社長 加藤 行正

(二面に続く)



&lt;一面から続き&gt;

## 創業六〇周年記念式典

今年の記念式典は一九日と二〇日の二回に分けて行われました。本社での六〇周年記念式典は五周年記念同様に当社らしく普段の我々の姿を見て頂ける

本社で開催されました。

一九日(土)本社三階会議室と常日頃よりご指導を頂いております学識者の先生方をご招待。出席して頂いた方々から多くの祝いの言葉、励ましを頂き、TOKYO MX制作の企業魂、大洋基礎工業(株)編を観ながら、琵琶の演奏を聞きながらの祝宴は大変盛り上がったと聞きました。

二〇日(日)は神守研究開発センターでの記念式典、総勢三〇〇名を超す大洋の仲間が集まつての開催。移動手段が大型バス、東京支店の到着時間が心配されましたが、式典開始一〇分前に到着、時間通りの開始となりました。五一期の社業の発展に貢献された方々の表彰が行われ、神守研究開発センターも長年続いた累積赤字の解消、五一期は単年度で黒字一億円の達成。現在席のセンター職員と創業者が席を移して以降の職員を含めて表彰されました。創業記念式典のテーマ「年に一度は皆で集まる」のもと支店間、協力会

社普段顔を合わせる事が少ない、多くの方々とより一層絆が強くなったと思いました。

レクリエーションではバック

ホウを使った玉すべりが行われ、水槽に浮く小さなボールを巧みに操作で上昇するなど白熱した競技となつて大きな歓声も上がっていました。バスでの移動という事もあり滞在時間は短い時間でしたが、短いなりに仲間としての絆や信頼関係を築く事ができました。

最後に企画・運営・準備・設営さらに片付けまで名古屋支店職員、神守研究開発センター職員・名古屋支店協力会の皆様、二日間に渡りお疲れさまでした。

そんな中、今年も五月一二日に、長野県千曲市で開催されました「協働の森づくり」に活動の一環として参加しました。今回

活動が取り組まれているそう

です。

長野県は言わざと知れた森づくり先進県ですが、環境問題で

ある地球温暖化が進んでいる今、減するため、各地域で森づくり

活動が取り組まれているそう

です。

長野県千曲市で開催されま

した「協働の森づくり」に活動の一環として参加しました。今回

活動が取り組まれているそう

です。

長野県は言わざと知れた森づくり先進県ですが、環境問題で

ある地球温暖化が進んでいる今、減するため、各地域で森づくり

活動が取り組まれているそう

です。

長野県は言わざと知れた森づくり先進県ですが、環境問題で

ある地球温暖化が進んでいる今、減するため、各地域で森づくり